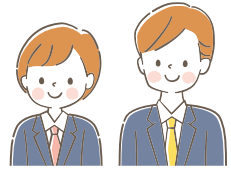




子どもたちに、遊びと学びの放課後を！

学び場支援事業



☎ 人権・同和教育課人権・同和教育係 ☎72-2111

学び場支援事業は「放課後に子どもたちが安心して、楽しく過ごすことができる場をつくりたい」という願いから始まった事業です。その背景には、1950年代、部落差別により教育の機会を奪われ、十分な教育を受けることができなかつた被差別部落の親たちの「せめてわが子には自分のような思いはさせたくない。十分な教育を受けさせたい」という願いから起こった教育要求運動があります。市では、全小中学校で「教育条件整備のための署名活動」が取り組まれ、この事業が実現しています。

学び場支援事業では、子どもたちが明るい未来をえがくための「基礎基本の力」、「自学自習の力」、「人の間で伸びる力」をつけることをめざしています。多くの「学び場スタッフ」の協力のもと運営しており、「遊び」「学び」の中で、子どもたち同士のつながりはもちろん、スタッフとの出会いがあります。学校や家庭とは違う大人(地域の人)に見守られる中で感じる楽しさや安心感は、子どもたちの成長のための大きな力となっています。

小学校「BBクラブ」

遊び場・学び場として、各小中学校で「BBクラブ」を実施しています。

学び合い・支え合う仲間づくりを進めながら自主学習に取り組んでいます。



中学校「チューター」

学習の場・交流の場として各中学校で「チューター」を実施しています。

進路実現に向けて学習する子ども同士の手がかりを大切にしています。



公共施設・学習スペースの開放

各コミュニティセンター・人権教育啓発センターでは、集中して勉強ができる学習スペースを開放しています。詳しくは、お問い合わせください。

「学び場スタッフ」募集中！

「学び場」を支えるスタッフを募集しています。一緒に、子どもたちが遊びや学びに取り組む様子を見守り、支えていきませんか。お気軽にお問い合わせください。

参加した
スタッフ
の声



子どもたちのいろんな成長を見ることができ、うれしいです。



いつも子どもたちから元気をもらい、私も楽しみながら頑張ることができています。